

2026年3月期
第2四半期

決算補足説明資料

2025年11月14日

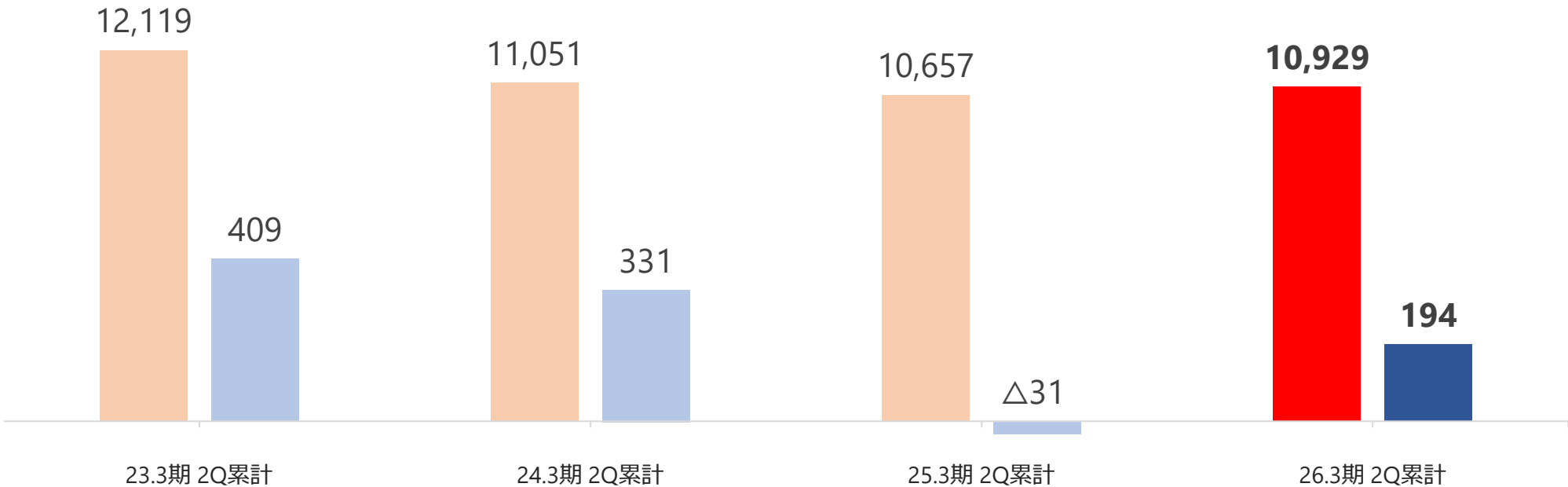
連結業績推移 – 第2四半期

26.3期
2Q累計業績

メニュー改定やプロモーション戦略の効果等で、売上が堅調だったことによる売上高の増加、前期の店舗閉店、生産性向上に伴う販管費の適正化等により増収増益

- <売上高> 前期比 +272 百万円、増減率 +2.6 %
・2025年4月に行った販売価格を見直したメニュー改定と、繁忙期のお盆期間に向けてのテレビCM等のプロモーション戦略に伴う売上増加等により、増収となる。
- <経常利益> 前期比 +226 百万円、増減率 - %
・メニュー改定に伴う生産性の向上、前期の店舗閉店やサービスの終了等により各種費用が適正化されてことで、増益となる。

■売上高 ■経常利益 (百万円)



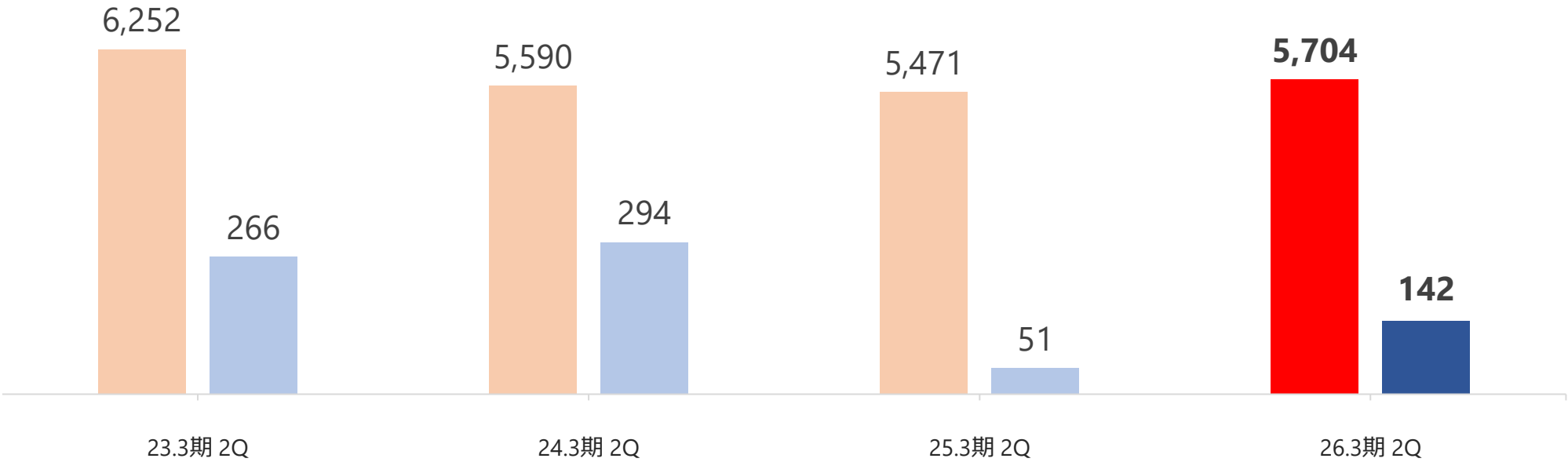
連結業績推移 – 第2四半期

26.3期
2Q業績

お盆期間の売上が堅調であり、イートイン業態の出店等に伴う売上高の増加、仕入れ価格の上昇に伴い売上原価は増加したものの、生産性の向上に伴い増収増益

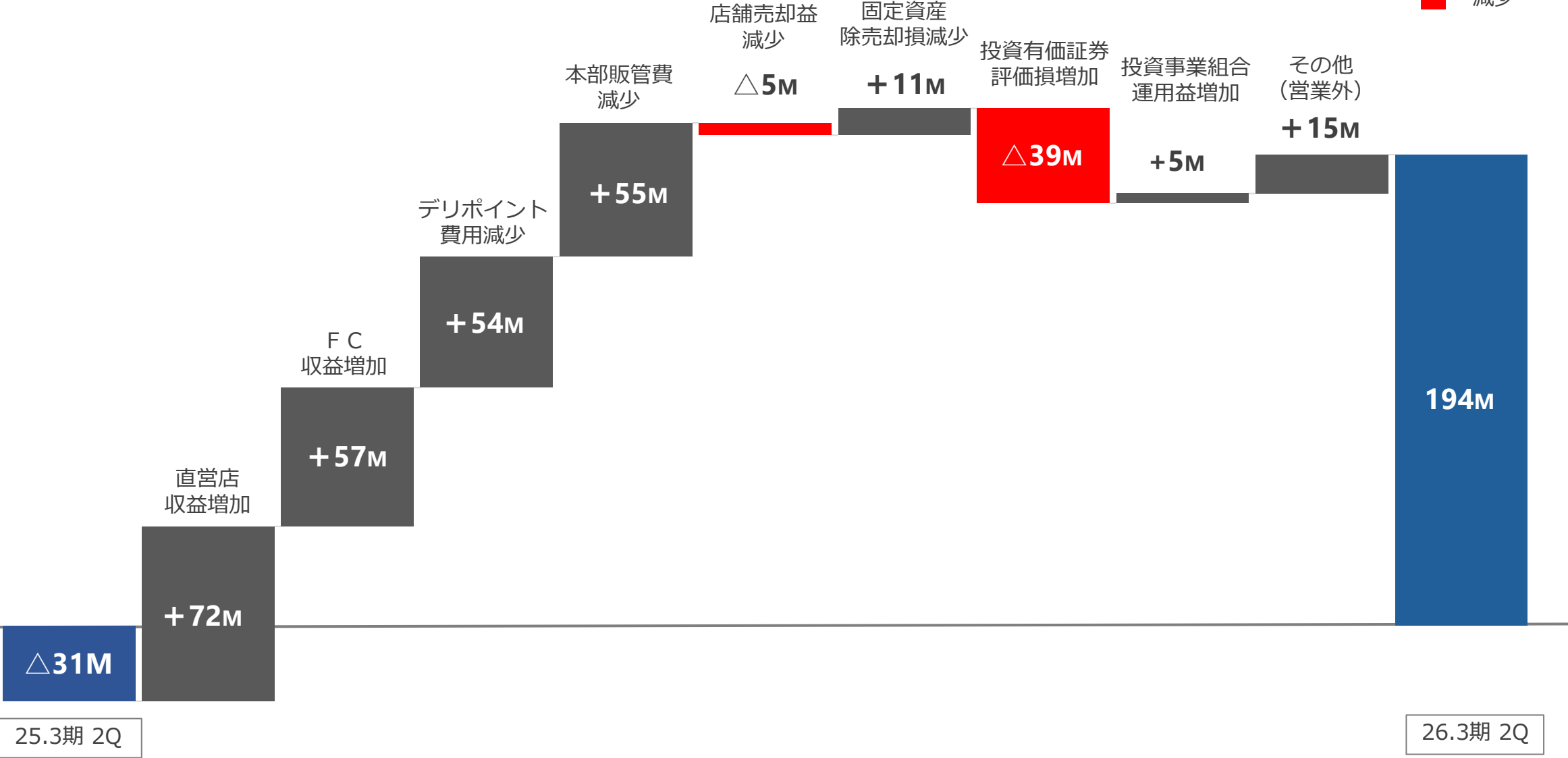
- <売上高> 前期比 +232 百万円、増減率 +4.3 %
・お盆期間等の売上は堅調だったこと、前期新規出店したイートイン業態に伴う売上増加等により、増収となる。
- <経常利益> 前期比 +90 百万円、増減率 +175.0 %
・仕入れ価格の上昇に伴い、売上原価は増加したものの、売上高の増加やメニュー改定に伴う生産性の向上等により、増益となる。

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



経常利益の前期比増減の構成 第2四半期

■ 増加
■ 減少



店舗数・拠点数の増減

事業形態	ブランド	25.3期末 店舗数	出店	閉店	26.3期 2Q店舗数
宅配事業	銀のさら	368	1	△4	365
	釜寅	228	1	△3	226
	すし上等	132	10	△4	138
	銀のさら 和(なごみ)	10	－	△10	0
	DEKITATE	1	－	－	1
その他	イトイン業態	3	－	－	3
合計		742	12	△21	733

	25.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	26.3期 2Q拠点数
直営店	105	1	△3	△3	100
FC店	266	－	△1	3	268
合計	371	1	△4	0	368

連結B/S 対前期末

(単位：百万円)	25.3期末	26.3期 2Q	前期比	ポイント
流動資産	8,709	9,287	+ 578	資産 + 1,254百万円 【流動資産】 + 578百万円 ・ 現金及び預金 + 497百万円 ・ 原材料及び貯蔵品 + 232百万円 ・ 売掛金 △177百万円 【固定資産】 + 676百万円 ・ 投資有価証券 + 637百万円
(うち現預金)	6,544	7,042	+ 497	
有形固定資産	663	694	+ 30	
無形固定資産	304	299	△5	
投資その他資産	3,319	3,970	+ 650	
資産合計	12,996	14,251	+ 1,254	負債 + 1,256百万円 【流動負債】 △44百万円 ・ 1年内返済予定の長期借入金 + 383百万円 ・ 買掛金 △239百万円 ・ 未払金 △87百万円 【固定負債】 + 1,300百万円 ・ 長期借入金 + 1,276百万円
流動負債	3,340	3,296	△44	
(うち1年内有利子負債)	610	994	+ 383	
固定負債	1,625	2,926	+ 1,300	
(うち1年超有利子負債)	1,038	2,315	+ 1,276	
負債合計	4,966	6,222	+ 1,256	純資産 △1百万円 【株主資本】 △44百万円 ・ 中間純利益 + 82百万円 ・ その他有価証券評価差額金 + 42百万円 ・ 新株式の発行 + 20百万円 ・ 配当金 △146百万円
株主資本	7,323	7,279	△44	
純資産合計	8,030	8,028	△1	
負債・純資産合計	12,996	14,251	+ 1,254	

取り組み：「敬老の日」など大切な家族と過ごす特別なひとときに！ ネタの配置にも工夫した大人数用寿司桶『団らん』期間限定販売

宅配寿司「銀のさら」において、大切な家族と過ごす特別な日に最適な大人数用商品『団らん』を、期間限定で販売しました。

「量は食べられないけれど、本当に美味しいものを少しずつ味わいたい」というシニア世代の声をもとに誕生した商品です。量があまり食べられない方や、サイドメニューやデザートも楽しみたい方など、様々な食のスタイルに合わせられる商品です。



団らん（だんらん） 7人前

取り組み：運転免許不要の特定小型原付を導入 配達手段の多様化で採用間口の拡充を目指す

宅配寿司「銀のさら」の一部店舗において、配達の新
たな手段として「（特例）特定小型原動機付自転車」に
よる配達を2025年6月より開始しました。

運転免許不要で16歳から運転可能なこの車両を活用する
ことで、従来、採用が難しかった層への雇用拡大につなげ、
持続可能で多様な配達体制の構築を目指します。



取り組み：「銀のさら」3年連続団体総合優勝・個人優勝！ 安全運転を競う「SDAセーフティコンテスト」

「第26回SDAセーフティコンテスト」にて、当社から出場した「銀のさらチーム」が団体総合優勝、個人優勝等の多数の良い成績を収めました。

当社では、「死亡事故を出さない」という強い想いのもと、「どこでも・誰でも・安全」を第一として、様々な安全教育の取り組みを進めています。

おいしさをお届けするフードデリバリーは、安全に商品をお届けしてこそ成り立ちます。当社では、今後もこの志を業界全体に繋いでいきたいと考えています。

※SDA：全日本デリバリー業安全運転協議会



取り組み：夏休みに魚や食の大切さを親子で学ぶ「お寿司作り体験」

宅配寿司「銀のさら」では、昨年につき2年目となる食育プロジェクトを開催いたしました。

子どもたちに「知る喜び」「作る喜び」を伝えることを目的として、魚やお寿司についての勉強から始まり、自らネタを切り、お寿司を握り、保護者の方と一緒に食べて、片付けをするまで全ての流れを体験するプログラムです。

本施策を通じて、今後も食育活動の可能性を模索してまいります。



